

【活動方針】

少子高齢化の進展に伴い労働人口が急速な勢いで減少し、高齢者や女性・外国人労働者の活躍機会の創出が叫ばれております。一方で、IT 技術の進展は著しく、人工知能やIoT の活用が進み、労働力の不足を補う形で、IT が社会インフラとしての役割を担う存在となってきております。今後は、クラウド機能やRPA などの安価な人工知能の活用により企業規模に関わらずIT の普及拡大が進み、企業戦略策定・遂行にまでIT 機能が活用される時代が訪れつつあります。

そうした時代背景を踏まえ、当協会では、地域の情報化イノベーションをリードし、地域経済活性化のため、会員企業・行政・諸団体等との連携を図り、情報サービス産業の振興を図るべく諸施策を着実に推進して参ります。

【事業計画】

1. 人材育成及び人材確保に関する事業

(1) 人材育成に関する事業

- ① 埼玉職業能力開発促進センターを活用し技術研修会を実施
- ② e-ラーニングの活用
- ③ 海外視察研修

(2) 人材確保に関する事業

- ① 中小企業労働環境改善事業（厚生労働省人材確保等支援助成金）継続
- ② 県内17大学合同企業説明会 2019年8月8日（木）開催予定
- ③ 学校と企業の就職交流会 2019年10月25日（金）開催予定
- ④ 会員企業求人案内の広報誌「SAI-PRESS」掲載
- ⑤ 各校就職責任者との交流（求人教育部会）
- ⑥ インターンシップへの対応（工業高校を含め）

2. 地域情報化推進事業

(1) 「彩の国さいたまICTコンテスト2019」の開催

一昨年より「ICTコンテスト」と改称し、ホームページ部門、プログラミング部門、アイデア部門を募集したところ多数の応募があり、本年度も3部門で募集する

- ① 作品公募期間（予定）：2019年9月2日（月）～10月4日（金）
- ② 表彰式：2020年1月17日（金）予定の賀詞交歓会前に表彰

(2) 「彩の国ビジネスアリーナ2020」の開催

埼玉県の産業振興・経済発展を図るため、（財）埼玉県産業振興公社が中心となり、埼玉県・県内金融機関等との共催により「ビジネスイベント」を開催する

- ① 開催日：2020年1月29日（水）・30日（木）開催予定
- ② 開催場所：さいたまスーパーアリーナ

(3) 埼玉県・さいたま市など地方自治体との事業連携

自治体が保有する各種公開データを、地域社会ニーズとのマッチングや複数データの組合せ等により、効果的なデータ活用を推進する

- ① 埼玉県企画財政部システム課と意見交換
- ② 埼玉県および県内自治体情報システム課等と連携し具体的推進策の策定

(4) 地域連携事業「次世代ICT活用調査研究会」の継続推進

平成28年度発足の「次世代ICT活用調査研究会」の活動を更に進め、先進ICT活用事例やAI・IoTを支える技術や事例などの調査・研究をするとともに関連するヒヤリングなどを実施し、県内団体・企業におけるICTの利活用を推進する。また、同研究会内に「埼玉県鶴ヶ島ジャンクション周辺地域基本計画」と連動するプロジェクトを設置し、同基本計画地域内の13市町におけるスマート社会実現へ協力していく

(5) ビジネス交流会・セミナー等の開催

タイムリーなテーマを選定し、新ビジネスの展開や、会員企業間のビジネス情報の交流を、埼玉県産業振興公社・異業種企業等と連携し推進する

① 「異業種との連携」強化

ビジネスチャンスの拡大

② 「ビジネス交流会」開催

効果的なテーマを選定し、会員企業及び異業種企業との交流会を開催

(6) 企画提案ワーキンググループ

ビジネス部会における各種活動において、新たな取組みを具体的に推進するために同ワーキンググループを設置し、部会活動の取組みの具体化を実施する。特に埼玉県各部署の施策におけるICTの活用を研究し、様々な提案をぶつけていくことにより、イノベーションを実現していきたい

3. 調査研究事業

(1) 行政機関・県内企業の情報化への進展等を見極め、地域情報サービス産業として情報収集を図り、会員企業への情報提供を行う

(2) プロジェクト管理技術・開発方法・先進ITの研究

① システム技術部会において定期的に各種研究を実施し、研究成果の発表を行う

② 研究活動報告を広報誌「SAI-PRESS」に掲載

4. 啓蒙・普及事業

(1) 広報誌「SAI-PRESS」の定期発行

協会の活動状況等を内外に周知し、知名度の浸透と公益法人としての情宣を積極的に発信する

① 広報誌の発行：年1回 1月

② 電子版デジタルの定期発行：年3回 4月・7月・10月

(2) 「ニュースリリース」の発信

① 協会に送付された「情報・ニュース・案内」などを会員にメールにて適宜送達

(3) 県立工業高校ソフトウェア・ホームページコンテスト大会の後援

① 全国大会出場学校選抜大会に際し人的・財政的支援を行う

5. 産・学・官交流事業

(1) 情報サービス産業振興のために、埼玉県をはじめ経済産業省・総務省・厚生労働省等、情報サービス産業協会（JISA）・全国地域情報産業団体連合会（ANIA）等関係諸団体、埼玉大学をはじめとする県内大学、地域共同研究センター、産学官交流協議会

等への参画、および国際交流等を行う

- ① 世界情報技術産業会議（WCIT）・アジアオセアニアICTサミット（ASOCI O）への参画
- ② 第40回ANIA北海道大会：札幌市で10月開催予定
- ③ 東京・神奈川・千葉・山梨及び近隣諸県の情報サービス産業協会との連携
- ④ メトロエリア・グリーン会（幹事）2019年9月20日霞ヶ関カンツリー倶楽部で開催予定

(2) 埼玉大学及び県内大学・専門学校との連携強化

- ① 実務教育：IT関連教育に経営者層の講師派遣
- ② 県内大学へのIT関連講座開設支援
- ③ 各大学と協会会員単独の合同求人説明会の開催

(3) 新年賀詞交歓会：2020年1月17日（金）パレスホテル大宮にて開催予定

- ① 諸官庁・諸団体関係者を招くと共に、協会会員の交流、拡大を図る
- ② 「彩の国さいたまICTコンテスト2019」の表彰式を同日に行う

(4) IPA主催「情報セキュリティ標語・ポスター等」情報セキュリティ啓蒙について

- ① 県内優秀作品を選出し当協会として表彰を行う

6. 福利厚生事業

(1) 協会会員の福利厚生事業

- ① 第26回ボウリング大会：2020年2月7日（金）開催予定

(2) チャリティー事業

- ① 第24回チャリティゴルフコンペ：2019年9月6日（金）開催予定

7. 労働環境改善・共同求人事業

(1) 埼玉労働局・埼玉県等との連携推進

- ① 労働環境改善活動、身障者雇用促進、ウーマノミクス等の諸活動
- ② 労働時間・福利厚生の改善と、求人・身障者・女性活躍等の推進

8. 会員増強運動

(1) 公益社団法人として地域経済振興のため、より広く強い活動基盤を確立するため

- ① 年間目標：5社

【おわりに】

近年の社会経済環境は急速に変化しており、ICTの利活用が社会経済活動の発展に不可欠なものとなっております。

当協会としましても、引き続き、地域情報化推進事業、IT人材育成事業、産学官交流事業や地域におけるITの啓蒙・普及事業など、さまざまな事業を積極的に推進し、情報高度化と地域経済振興に貢献して参る所存です。

2019年度も、埼玉県唯一の公益社団法人の情報サービス産業団体として社会の負託にこたえるべく、地域における市場創造をめざして、事業を積極的に推進したいと考えております。

以上